

防災情報を確認し、**防災力**を高めましょう

自分の命は自分で守る——。災害時に被害を少しでも抑えるためには、行政の「公助」に加え、家族や近所、地域の人がお互いに助け合う「共助」、そして自分のことを自分で助ける「自助」が重要です。自分の命が守れなければ、家族や地域の人を守ることもできません。自分を助けるために必要なことは、防災に関する知識を身につけ、災害に備えることです。また、災害発生後に情報を収集することも大切です。緊急時には、市や各機関からさまざまな情報が発信されますので、事前に確認しておきましょう。

防災行政無線の活用

市では、市民のみなさんの生命などに危害が及ぶおそれのある場合に、筑西警察署、筑西広域消防本部と連携し、防災行政無線でその内容をお知らせしています。



<放送内容>

- ①凶悪犯罪が発生し、犯人が逃走中であるとき。
- ②行方不明者又は身元不明者を捜索するとき。
- ③動物の出没又は逃走により市民の生命・身体に危害が及ぶおそれがあると認めるとき。
- ④前各号に掲げるもののほか市民の生命・身体・財産に被害を及ぼすおそれがあり、特に市民に周知する必要があると認める事案があるとき。

<放送時間>

原則 **午前7時～午後8時** ※緊急の場合例外あり

まだまだ台風シーズン！川の情報はここでチェック！

下館河川事務所ホームページ

鬼怒川・小貝川の情報が掲載されています。

- 雨量・水位情報
テレフォンサービス
☎ 25-2180
- 鬼怒川・小貝川のライブ映像



非常持出袋

ライフラインが止まっても、最低3日間は自力で生活できるよう、普段から準備しておきましょう。



非常持出品の例

- ☐ 飲料水 ☐ 食料品（カップめん、缶詰など）
- ☐ 貴重品（預金通帳など） ☐ 救急用品（薬など）
- ☐ ヘルメット・防災ずきん ☐ マスク ☐ 軍手
- ☐ 懐中電灯 ☐ 衣類 ☐ 下着 ☐ 毛布・タオル
- ☐ 携帯ラジオ ☐ 予備電池 ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ ウェットティッシュ ☐ 洗面用具

災害の最大の敵は「無関心」であることです。日頃から、一人ひとりが防災について意識するようにしましょう。備えとして、非常持出袋を準備しておくこともいいですね。



消防防災課 水越輝夫技官

市の情報発信ツール

防災行政無線

放送内容をフリーダイヤル、市ホームページで確認できます。

☎ 0120-0296-99



公式ホームページ

行政情報などを掲載。緊急時には災害特別版に切り替え、情報を発信します。



情報メール一斉配信

登録者にカテゴリーに応じてメールを一斉に配信します。

例：火災情報など



公式フェイスブック

情報を受け取るだけでなく、自ら発信できます。また、拡散効果が期待できます。



公式ツイッター

情報を受け取るだけでなく、自ら発信できます。また、拡散効果が期待できます。



問

消防防災課（下館庁舎2階）

☎ 241-2132